

全国建具・愛知大会

全国建具業者大会を開催

全国の建具事業者が業界発展を祈念



愛知大会での業者大会の様子

一般社団法人全国建具組合連合会（佐田時信理事長）は6月14日、愛知県名古屋市熱田区の名古屋国際会議場センチュリーホールにて第4回（通産64回）全国建具業者大会を開催した。

開会に先立ち、開催県である愛知県の民謡の「正調・名古屋甚句」を披露。山守敏愛知大会実行副委員長による開会の言葉、国歌斉唱、物故者への黙祷に続き、主催者を代表して大竹一弘愛知大会実行委員長と佐田理事長が挨拶。大竹実行委員長は「本日は全国の建具事業者が集ま



正調・名古屋甚句の演奏

る業者大会。短い時間ではあるが、有意義な時間を過ごしていただきたい。本日は大村愛知県知事をはじめ、行政関係や建築関係の方々にも来場してもらっている。愛知大会は今日と明日の2日間であるが、じっくり見学していただきたい」と、来場した全国の組合員を歓迎。佐田理事長は「第4回（通産64回）の総会及び業者大会、第53回全国建具展示会、第4回（通産44回）青年部総会が愛知県で開催できたことに感謝申し上げます。昭和42年に第1回全国建具展示会が愛知県で開催され、以降は全

国各地で展示会を行ってきた。元号が令和となり、改元後初となる展示会が愛知県で開かれることによつて、新しい方向へ踏み出すことができると感じる。我々の先人は建具を使って、家の間取りを変えてきた。住宅の設計には『これで良い』という決まりはない。綿密な設計をして

も、住んでみると不備が出る。春夏秋冬の変化に対して、快適に暮らすためには建具が必要。建具の仕事に誇りを持ち、新しい暮らし方を提案していくことが重要となる」と、開催を祝うと共に、建築物における建具の重要性を語った。

来賓祝辞では、大村秀章愛知県知事、堀場和夫名古屋市長、経済産業省製造産業局住宅産業室の縄田俊之室長が祝辞を披露。大村知事は「日本一の『ものづくり県』である愛知県に、日本中の建具技術が集結する大会が開かれることは大変喜ばしいと感じる。建具は住まいの必需品であり、建具業界は技術の向上と新製品の開発に取り組んできた。日本中の建具技術者が一堂に会する愛知大会が更なる技術向上につながることを期待している。愛知県は県土の4割以上を森林が占め、古くから